基本領域

精神科

久留米大学病院
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

1 プログラムの名称

久留米大学病院精神科専門医研修プログラム

2 研修期間

３年

3 募集要項

募集人員：　10名

募集期間：　日本専門医機構のスケジュールに準ずる。

＊一次募集で定員に達しない場合は二次募集を行いますが、福岡県全体での人数が定員に達し次第、募集が終了となりますので注意が必要です。
＊次年度に向けて、さらに研修の選択肢が拡がるよう、連携施設の拡大や他の施設群との連携も申請中です。
詳しくは担当者へお問い合わせください。

応募資格：　医師免許を有している者
臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法：　履歴書
臨床研修修了証明書または修了見込み証明書
医師免許証写し
※まずは担当者へお問い合わせください

選考方法：　書類審査　面接等

選 考 日：　応相談

処　　遇：　大学規定に準ずる

4 プログラム統括責任者・指導医数

プログラム統括責任者：本岡　大道
専攻医指導医数：約120名

5 主な連携施設

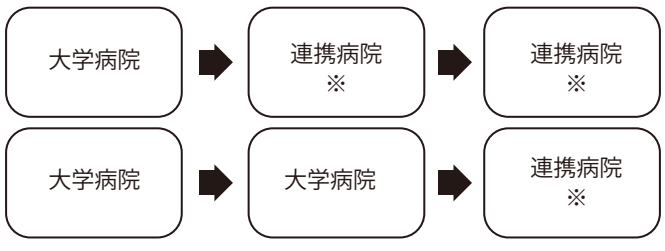
荒尾こころの郷病院・植田病院・宇和島病院・大川病院・
大貞病院・大島病院・大牟田保養院・おおりん病院・
奥村日田病院・甲斐病院・回生病院・加藤病院・小倉蒲生病院・
小倉記念病院・小鳥居諫早病院・下関病院・松籟病院・
新門司病院・聖マリア病院・聖ルチア病院・大法山病院・
たていわ病院・田主丸中央病院・筑水会病院・堤病院・中村病院・
のぞえ総合心療病院・早津江病院・堀川病院・松ヶ丘病院・
宮の陣病院・三池病院・松岡病院（鳥栖）・松岡病院（安武）・
みずほ病院・見立病院・南ヶ丘病院・弓削病院　など

6 プログラムの特色

精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献する精神科専門医を育成することを目的とします。精神医療のニーズは拡大してきており、自然災害や犯罪による外傷後ストレス障害（PTSD）、高齢化による認知症の増加、24時間社会、夜型社会に伴う昼夜逆転を含む睡眠障害や中高齢者の自殺の増加、ひきこもり、不登校、自傷行為、摂食障害など児童思春期に多い病態などいずれも大きな社会問題となっています。当院では幅広い分野での研修が可能であり、修正型電気痙攣療法（mECT）、反復経頭蓋磁気刺激（rTMS）療法など専門的な治療も経験できます。通常、専攻医は1～2年目に基幹病院で研修し精神医学の基礎を着実に身に着け、2～3年目以降は連携施設で研修を行うことを標準とします。

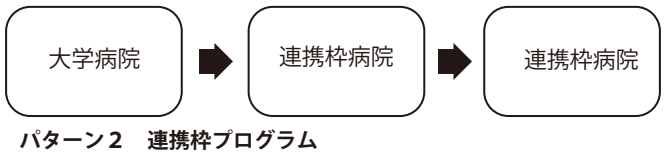
さらに地域研修を深めたい場合は、2年次より福岡県外での地域研修に従事していただくことも可能です。地域に密着した医療機関では、予防・治療・アフターケアが一体となった医療が行われ、障碍を持ちながらも生きていける地域づくりを目指すことを理念としていますので、充実した研修生活を送ることが出来ます。臨床研究に特に興味を持つ場合、大学院に入学しながら専門医を獲得することも可能です。

専攻医研修　ローテーションモデル（以下、常勤研修部分）



パターン1　基本例（通常枠プログラム）

最初の1年または2年を基幹施設である久留米大学病院で研修し、2年目または3年目以降を連携施設病院でより深く学ぶ方式である。連携施設にはそれぞれの特色があり、専攻医のニーズに合わせた研修が可能である。連携施設病院のいずれかにて、原則として1年ずつの研修となる。
※通常枠プログラムは、原則として1年以上はシーリングのない県で地域医療の研鑽を積む。



パターン２　連携枠プログラム

大学病院で1年～1年半研修後、地域連携と結んでいる病院で1年半～2年研修するパターン。地域に密着した医療をしっかりと体験できる。研修修了後は九州の病院にてさらなる研鑽を積むことが可能である。

7 プログラム統括責任者から一言

将来、地域の第一線で活躍できる医師を育成するプログラムです。一般的な精神科臨床だけではなく、睡眠・児童思春期・てんかん・リエゾン・緩和ケア等の専門分野も学ぶことができ、臨床研究や大学院への進学も積極的に行っています。
一緒により良い精神科医療を目指しませんか？

8 連絡先・担当者

久留米大学医学部神経精神医学講座
TEL: 0942-31-7564　FAX: 0942-35-6041
E-mail：psy_senmon@med.kurume-u.ac.jp
担当者：佐藤　守（医局長）

9 研修プログラムのＵＲＬ

久留米大学神経精神科　専攻医研修プログラム
http://www.neuropsy-kurume.jp/program/second.html
http://fa.jspn.or.jp/program/0060.pdf